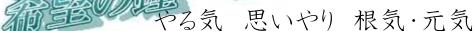


甲賀市立希望ヶ丘小学校 学校通信

2025.11.4 NO.13



がっこうきょういくもくひょう ひと ひと ゆた なか みずか まな こころゆた ちいき あい こ いくせい

学校教育目標:「人と人との豊かなつながりの中で、自ら学び、心豊かでたくましく、地域を愛する子どもの育成」

ではかいできます。こうした大きな行事は子どもたちにとって大きな成長のステップとなります。得意なことをより一層高めること、苦手なことにも挑戦 すること、継続して取り組むこと、見通しや計画をたてること、仲間と協力することなど多くの成長要素を含んでいます。しかし、こうした成長はなかなか目で見て判断できるかってはありません。テストや記録のように数値化できないからです。だからこそ「ふりかえり」が大切になってきます。まずは自分自身のふりかえりによって自分自身の変化や成長を自覚します。次に、仲間や教師などの他者からの評価も大切です。自分自身ではなかなか気づかなかった成長にも自を向けることができるからです。そして何より大切なふりかえりは「家族」からの愛情とともに注がれる服差しであったり、声かけだと思います。そこで子どもたちは「頑張ってよかった」。「やればできる」という自信を希望がうまれ自己肯定感を強めていきます。これは子どもに限ったことではなく私たち大人も同様です。数字で形ではなかなか現れてこないきず。これは子どもに限ったことではなく私たち大人も同様です。数字で形ではなかなか現れてこないきずともたちの日々の成長を、できるだけアンテナ高くして気づき、その成長を、ふりかえりとして子どもたちに伝えていくことができれば、きっと意欲を絶やさず挑戦していくことのできる力になるのではないでしょうか。中盤から年度末に向かう今、一つひとつの場面をしっかり見つめ、「ふりかえり」から新たな学びの意欲に繋がる学習の書がに取り組んでいきたいと想います。

 こうちょう
 むら
 ち
 あき
 ひこ

 校長
 村
 地
 昭
 彦



64.9%

道路交通法第63条の11 第1項

自転車の運転者は乗車用へルメットを かぶるよう努めなければならない

皆さんもご承知のとおり、自転車に乗車時は、子どもも大人も「ヘルメットの着用」が努力義務となってしばらくがたちます。しかしながら街中を見てみると未だにヘルメット未着用者の自転車を数多く見ることがあります。努力義務であることから罰金等の罰則は科されていません。しかし、自転車の死亡事故のうち64.9%が頭部の致命傷であるというデータもあることから着用の必要性を強く感じるところです。

本校の児童の多くはヘルメットを着用して自転車に乗っていますが、全員ではありません。助かるはずの命がヘルメットを着用していなかったことで奪われてしまうことは何としても避けたいものです。ヘルメットがあるなら着用の声かけを。未所持の場合は早めの購入をお願いします。